



ほけんだより 11月号

2025年10月31日
ひいらぎこども園
園長 中田 純子

11月になり、葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色付き始めました。落ち葉を拾う子どもたちも秋から冬への移り変わりを感じているようです。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう、感染症予防はしっかりと行いましょう。



尿検査があります

11月6日(木) 7日(金) 検尿提出日です。全園児対象になります。朝一番の尿を採取し、必ず登園時に提出してください。提出忘れのないようお願いいたします。

12月3日(水) 再検査日

※「容器へのバーコードシール貼り付けの注意点」は、提出日前日に玄関ホールに掲示します。ご確認ください。



11月9日は「換気の日」

「いい空気」と読ませることから換気の日と言われています。暖房器具を使用中に換気が不十分な状態が続くと一酸化炭素中毒で意識を失うこともあります。空気(風)の通り道をつくり、1時間に1回、5分程度の換気を心がけましょう。

寒くなり乾燥が続くと 感染性腸炎が流行ります

健康な体作りが感染症の予防になります。手洗い・うがいが風邪予防の基本です。規則正しい生活で、ウイルスを寄せ付けない強い体を作ること、大きな感染症予防になります。また、乾燥対策として、加湿器の使用やぬれたタオルを部屋に干すことも予防になります。

発熱などの症状が出たら!?

厚生労働省の「保育所における感染対策ガイドライン」では、発熱・下痢・嘔吐時の登園基準を定めています。お子さんの健康回復と他のお子さんへの可能性を考えて決められています。

健康回復が不十分な状態で登園しますと病気の回復が遅れたり、新たな感染症にかかりやすくなります。発熱、咳、鼻づまり、下痢、嘔吐などでお休みされた場合は、登園の目安を参考に登園してください。

発熱

24時間解熱剤を使用せずに解熱している。

咳、鼻水

登園前夜、咳や鼻水があっても十分に眠れていること。

下痢

24時間元気で食欲があり、便の状態が普通便に戻り、3回以内であること。

嘔吐

24時間元気で食欲があること。

症状があった場合、24時間は、感染拡大防止とお子さんの安心、安全のため、ご家庭での保育をお願いします。

インフルエンザ予防接種のシーズンです

インフルエンザワクチンの最大の目的は重症化を防ぐことです。感染を完全に防げるわけではありませんが、発症のリスクを下げる効果があります。実際、厚生労働省によれば6歳未満の子どもでは、発症を60%防げたとする報告もあり、接種しない場合に比べて半分以下に抑えられるとされています。また、かかってしまっても、高熱が長く続くのを防ぎ、肺炎や脳症などの重い合併症を避けることができる点が重要です。ワクチンの効果は接種から2週間ほどで現れ、5か月程度持続します。

